



PwC Japan合同会社（コーポレート部門_障がい者）

法務_社内弁護士【OGC】

法務_社内弁護士【OGC】：

Open/Closed Open

セクションを非表示 - DetailsDetails

Specific Information (External):

PwC Japanグループのコーポレート部門法務 (Office of the General Counsel) にて、ご活躍いただきます。

【担当業務】

- ・ファーム内で生じる各種法律案件についての相談対応
- ・予防法務（リスクの把握と防止）
- ・リスク案件/訴訟案件対応
- ・契約書レビュー
- ・ビジネスサイドで検討しているサービスに対する法的観点からのアドバイス提供
- ・日本の法規制や日本の法制度などについてグローバルへの情報提供

【担当領域】

- ・（主に）日本法が関連する業務
- ・PwC Japanグループ全体（全Line of Service：Assurance, Deals, Consulting, Tax）

※本ポジションは、コーポレート部門所属（PwC Japan合同会社）となります。

【法務部社員（Manager）からのメッセージ】

①仕事内容②組織カルチャー③働きやすさの3つの点で、入社後に良かった点を伺いました。

①仕事内容

PwCのビジネスの監査アドバイザリー、コンサルティング、Deals、TAXの領域で様々なプロジェクトが走っていて、対応案件の種類が豊富にあり、日々新しい知見に触れられる点が非常に面白いです。前職の事業会社では得意な技術に関連した範囲に限られる一方、現在は、当時関わらなかったような新たな業界規制を知る機会があり、学びの機会が多いと感じています。

②組織カルチャー

職階に関わらず意見を交換できる環境があり、また、一緒に働く人たちの仕事へのモチベーションも高く刺激を受けています。良くしたい、前に進みたいという前向きな気持ちを共有し、意欲にあふれた人材と切磋琢磨して仕事をしていきたい、という人にはうってつけの環境だと思います。

③働きやすさ

PwCでは現在ハイブリッドワーク（リモート勤務、出社勤務に制限無し）とフレックスタイム制度で勤務しています。コロナ禍に入社し、当時は入社時研修、OJTもすべてリモートでしたが、困ったことは今のところありませんでした（現在は、初日のみオフィスでの研修で、2日目以降はリモートでの研修を実施しています）むしろ、子供の保育園の送迎や家族と夕食を一緒に食べたりといったプライベートとの両立が図りやすく、仕事もプライベートも楽しめています。

今後も、リモートとオフィスを使い分けるハイブリッドワークを想定しており、生産性高く働いていけると思います。:

Work Location(External) 東京

セクションを非表示 - Application conditionApplication condition

Core Requirements(External):

<必要な経験およびスキル>

- ・日本法弁護士
- ・企業法務経験
- ・他のチームやOGC(Office of the General Counsel)メンバーと良好なコミュニケーションおよび連携をできる能力 *チームプレイヤー

<歓迎要件>

- ・法律事務所での執務経験（3年程度が望ましい）
- ・英語力（あると望ましい）
- ・問題の確認やエスカレーートをタイムリーかつ適切にできる能力
- ・プレッシャーに強く、優先順位を自らつけられる能力

Treatment:

2025/5/28 日本法弁護士の募集掲載を開始しました

- ・ 職階：Senior Associate、Managerのいずれかの職階で候補者のレベルに合わせて採用。
- ・ 年収：750～1500万円
- ・ 人物像：新たな業務に前向きに積極的にチャレンジしてくださる方
- ・ 必要資格：日本法弁護士資格
- ・ 経験：弁護士事務所経験、事業会社でのインハウス経験など

■PwC Japan合同会社、OGC（法務部門）のメンバーとなり、担当案件のLos（Line of Service)は限定されません。

担当：桑原

